

ガンコ親父の

つい先日まで、松次郎は自宅にパソコンを持っていなかった。以前、妻の貴代はパソコンの購入を松次郎に強く勧めたことがあった。その当時、高校生だった学が「友達の家はどこでもあるんだから」とパソコンを欲しがったからだ。それからパソコン購入を巡って、口喧嘩もグンと増した。しかし、松次郎は頑として首を縦に振らなかった。

ずいぶん昔の話だが、松次郎の会社でも社内でのOA化に伴って、経理担当だけが使っていたパソコンを、社員全員が使えるようにとの指令が出された。慣れないキーボード入力は苦痛を伴うだけで、逆に、松次郎には不便にさえ感じられた。

パソコン研修はあったが、デジタル難民の松次郎には、すぐには理解ができなかった。昨日も教えたばかりじゃありませんか、といわんばかりに「操作方法、紙に書いておくといいですよ」と、新人類の後輩達からはまるで子供扱いだった。それが先輩に対する態度かと怒ったこともあった。そして、ひたすら悔しかった。

席は近いのに、社員間の連絡にメールを利用することにも腹が立った。それ以来、松次郎の「パソコン嫌い」「デジタル嫌い」は増幅することはあっても、消え去ることはなかった。

これまでも、ウェブサイトに注文した「お取り寄せのツマミ」が旨かった話や、パソコン注文はとても便利だなどという話は同僚からよく聞かされた。しかし、パソコンを介する話にはそれ以上の興味を示すことはなかった。だが、最近、友人の「孫のための買い物にウェブサイトを利用している」という話にだけは、松次郎もこれまでと違う反応を示した。

たくさんのショッピングのHP上には、近くの店には置いてない便利な育児商品もたくさんあり、簡単に頼むことができる、というのだ。「育児」の単語が松次郎の心を捉えた。これまでにない何かが松次郎の心に広がり、デジタルを否定する凍り付いた心に、温かい飲みのような思いが満ちはじめた。すぐに、花菜のお腹に育ちつつある孫の笑顔が頭に浮かんだ。松次郎らしくそれからは、話は早かった。

「学、おまえパソコンを繋ぐことが出来るか？」と松次郎の口から出てきたパソコンの4文字に学は驚いた。「見るだけでもしんまんが出るって言うってたくせに、なんだよコレは」と学はぶつぶつ言いながら、松次郎の机の上でセッティングを終えた。「オレが高校生の時に買ってたから」と言いかけて口を閉じた。

「まあ、このままだけいば、奄美の絶滅危惧種としてパソコン嫌いのレッドデータに乗るところだったけど、なんとかこれで助かった」と学はイヤミを忘れなかった。さっそくその夜は、花菜の提案で「パソコン購入記念」の家族宴会になった。

『しまっちゃん伝蔵』が松次郎一家の笑顔に色を添えたが、松次郎は「なぜ、パソコンを買ったの？」というみんなの質問には最後まで答えなかった。孫へのプレゼントを贈るまでは誰にも言えない。酔っぱらっても口を割らなかった。松次郎の頑な性格は今日もカタチを変えて続いていくのだった。



奄美黒糖焼酎

しまっちゃん伝蔵

常圧蒸留

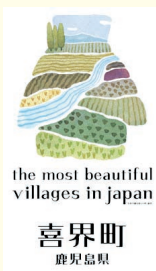
昔ながらの手造り
こだわり焼酎

喜界島の豊かな大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゃん伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokoroのある味と香りです。



喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12
☎0997(65)0251

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ加盟しました。喜界島酒造はこの活動を応援しています。



25度
好評発売中

パソコンに乾杯!

<http://www.kurochu.jp>

お酒は20歳になってから。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児に悪影響を与えるおそれがあります。